

氏名	名 和 英 明
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 5 5 8 号
学位授与の日付	昭和48年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	有機塩素剤農薬中毒に関する研究
論文審査委員	教授 小坂 淳夫    教授 大藤    真    教授 山崎 英正

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

有機塩素剤農薬は強い毒性の上に、残効性も強く日常食品を汚染することから人体への影響が大きな社会問題となっているが、本剤農薬中毒の簡便迅速な診断方法の確立及び各種疾患発現に対する本剤農薬の関与の有無を検討するためにこの研究を行なった。

その結果、電子捕獲型検出器付ガスクロマトグラフ法による血中よりの農薬検出法は急性有機塩素剤農薬中毒の診断方法として強力な新しい手段であることを明らかにし、有機塩素剤農薬の生体内における動態の一部も明らかにすることが出来た。血清中における  $\beta$ -BHC, p,p'-DDT, p,p'-DDE 濃度は悪液質状態の悪性腫瘍患者に高値を示し、 $\beta$ -BHC 濃度は肝疾患、SMON 及び白血病患者においても比較的高値を示したが、疾患発現との関係は明らかでなかった。また血清中において  $\beta$ -BHC, p,p'-DDT, p,p'-DDE を対象全例に検出し、有機塩素剤農薬の人体内残留蓄積がかなり進んでいることを推測することができた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、有機塩素剤農薬中毒に関し、とくに血中有機塩素剤農薬の簡易検出法に新知見を加えると共に、健康人および各種疾患患者における血清中の有機塩素剤農薬の濃度を測定して、本邦の現在おかれている環境下の問題を指摘しており、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。